

▶江戸幕府により作られた絵地図「東海道分間延絵図」(藤沢市蔵複製)の藤沢宿



藤沢宿の歴史



▲「東海道七十五次 藤沢(録書東海道)」歌川広重
旅人や客引きなどが描かれ当時の賑わいを感じられる

藤沢宿は、江戸時代に整備された東海道の宿場「東海道五十三次」のひとつ。慶長6年(1601)、江戸幕府が東海道の駅制を定めた際に宿場町として整備され、場所は起点である江戸日本橋から数えて6番目にあつた。

藤沢が宿場町になつた背景

戦国時代から、小田原北条氏が藤沢大鋸町に幕府公用の馬・伝馬を置くなど、交通上の要地とされていた。また、慶長元年(1596)には徳川將軍家の宿泊施設である藤沢御殿が築かれていた。

藤沢宿の特色

江戸時代の藤沢宿が賑わつた理由は、当時の旅人たちに人気の「大山詣で、江ノ島弁財天詣で」の要所であつたこと。東海道を西へ下り、途中、北西へ分かれる大山道、南へ下る江の島道、さらに鎌倉道や八王子道など多くの道が集結していた。

江戸時代の旅人を魅了した 藤沢の歴史 ゆかりの地へ

東海道の宿場町として栄えた藤沢宿。ゆかりある寺社や歴史スポットを巡りながら、藤沢の歴史を感じてみたい。

遊行寺 ●ゆぎょうじ

鎌倉時代に一遍上人が開いた時宗の総本山。正中2年(1325)に呑海上人によって創建され、江戸時代には藤沢宿を訪れる多くの旅人が参詣に訪れた。境内には市指定天然記念物の大イチョウがそびえる。宝物館も必見。

☎0466-22-2063

MAP 付録オモテE4

①藤沢市西富1-8-1 ②JR藤沢駅北口から徒歩15分 ③境内自由(宝物館は④展覧会により異なる)⑤10時~16時30分。受付は~16時 ⑥火~金曜。祝日の場合は開館 ⑦15台 [設備]トイレ、車イス用トイレ、オムツ交換台、オストメイト対応トイレ

▼正式名称は八王山摂取院常光寺。
浄土宗大本山 鎌倉光明寺の末寺



浮世絵にも描かれた藤沢を代表する古刹



◀宝物館では絵画や書籍、工芸など仏教美術の作品を展示。特別展も開催

▲秋には見事な黄色に染まる大イチョウは高さ21m、幹の周囲は7.1m

▶境内にはそれぞれ義経藤・弁慶藤とよばれる、2本の白藤がある。弁慶の力石も必見



緑に包まれた静かな境内



常光寺 ●じょうこうじ

境内は樹林に包まれ、その全体が市の天然記念物に指定されている。なかでも「かながわの名木100選」のカヤの大木は圧巻だ。寺の南側の公園には「弁慶塚」がある。

☎0466-22-2266

MAP 付録オモテD4

①藤沢市本町4-5-21 ②小田急江ノ島線藤沢本町駅から徒歩7分 ③無料 ④無休 ⑤なし

白旗神社

●しらはたじんじや

古くは寒川神社とよばれ、寒川比古命を祀る。平泉で自害した源義経の首がこの地に葬られたと伝わり、宝治3年(1249)に義経も合祀された。江戸時代から続き、毎年10月に行われる湯立神樂は市の重要無形民俗文化財。

☎0466-22-9210

MAP 付録オモテD4

①藤沢市藤沢2-4-7 ②小田急江ノ島線藤沢本町駅から徒歩7分 ③境内自由 ④20台

源義経を祀る自然豊かな神社



◀現在の社殿は天保6年(1835)に建てられた